

指定管理施設の管理運営評価票（評価対象年度：令和 5 年度）

施設所管部署	健康福祉部 地域福祉課
評価対象期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日
評価対象年度指定管理料	5 2, 8 7 2, 0 0 0 円

1. 施設の概要等

施設の概要	名称	焼津市大井川福祉センター
	所在地	焼津市宗高 5 7 2 - 1
	設置目的	地域福祉活動の拠点として福祉サービスの総合的な提供を促進し、福祉の増進を図る。
	設備の概要	(施設面積) 延床面積 3, 2 7 3. 9 6 m ² (施設内容) 貸館設備、入浴施設、芝生広場

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名称	焼津市社会福祉協議会
	所在地	焼津市大覚寺 3 丁目 2 - 2
指定管理業務の内容	○施設の利用に関する業務 ○福祉避難所に関する業務 ○施設の運営に関する業務 ○その他市長が必要と認める業務 ○施設及び附属設備の維持管理に関する業務	
指定期間	平成 3 1 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日	

3. 指定管理者業務運営項目評価

評価項目	指定管理者		市	
	自己評価	評価の理由	評価	評価の理由
1. 実施体制に関する評価	B	施設管理については、協定書等のとおり施設運営体制を整え、その水準に沿った管理内容である。 指定管理業務に関しては、担当職員が対応しているが、必要に応じて大井川支所の全職員で協力し、電話対応や窓口対応を行っている。 施設に関しては、開設から 20 年以上が経過し老朽化が進んでいるが、平時より施設内外や設備にも気を配り不都合等があった場合には素早い対応ができるように努め、再委託業者と連携し保守点検等を行い、不具合や故障に関しては担当課と相談しながら早急且つ適切な対応を行っている。 また、来館者の声やアンケート、意見箱を基に来館者が快適に利用していただけるように努めている。 管理運営に関しては、円滑な管理・経営と地域福祉の推進を図るために設置される「運営委員会」を年 2 回開催し、委員よりご意見や要望をいただいて改善に努めている。	B	施設管理体制については、必要な人員が配置され、仕様書等を遵守した管理がなされている。 施設の老朽化が進んでおり、修繕の必要な箇所も増えているが、市担当者への不具合や故障などの報告も適切になされている。 緊急時の対応についてもマニュアルが整備され、定期的に訓練が実施されている。

2. サービス内容や水準に関する評価	B	常に笑顔で挨拶、迅速な対応を徹底した。利用者アンケートの結果、来館者は焼津市内にお住まいの方が多いため、地元地域に根付いた施設運営を行っていくことを心掛けている。誰もが利用しやすいよう施設内の環境にも気をつけ、快適に利用していただけるよう努めている。 協定書等のどおり施設管理体制を整え、その水準に沿った管理をしている。 毎日見回りを欠かさず電球の玉切れや不具合箇所が無いか確認している。 開館して 23 年が経過しており修繕箇所が多い中、優先順位をつけ、委託業者と連携して修繕をしている。緊急を要する修繕については、常に迅速な対応が取れるようにしている。 また、市への月例の報告も指示どおり行っており、緊急事項の場合は、その都度連絡し報告している。	B	利用者への対応については、利用者アンケートが概ね高評価であったことから、丁寧な接遇に努めたことがうかがえる。 維持管理については、仕様書等に従い、衛生管理や設備等の保守管理が適切になされ、利用者の安全を考慮した運営がなされている。 裁量の範囲で可能な限りの修繕を率先して行っており、利用者の安全を考慮した運営を心掛けている。
3. 収支等の評価	B	適正な帳簿等の管理により、健全な予算執行を行った。また経費削減のため、蛍光灯を LED に変更する等、可能な限りの節電や省エネに努めた。	B	経理事務や予算の執行については、適正に行われおり、光熱水費や人件費の高騰が続く中、指定管理料の範囲内で予算が執行されている。 また、設備の老朽化による不具合が引き続き課題であるが、裁量の範囲で可能な限りの修繕を率先して行っている。
総合評価	B	空調設備更新工事により約 4 か月間休館となったため、来館者数は例年と比較し減少した。 会館の特徴を生かした運営として、夏季期間にはせせらぎ広場を利用した噴水プールの開放、グリーンカーテンの設置やほほえみ祭りを開催した。 入浴施設利用者を主とする会館利用者の多くが普段から事務所に寄って声を掛けてくださり、顔なじみとなり、頻繁に利用していた。これも笑顔で挨拶をすることなど、継続した接客対応の結果であると思われる。 今後も継続して会館の老朽化への対応や省エネ対策にも努め、安心安全快適な会館運営を行っていく。 当協議会の管理運営の理念「心休まる施設運営」及び方針「来館者の安全を第一」が来館者に理解していただけて、気軽に利用していただけるよう努めていく。	B	総合的には良好な結果であった。 大井川地区における福祉の拠点となっており、アンケートなどからも、多くの来館者に親しみをもたれていることが伺える。 施設の管理に対する対応も適切であり、緊急的な対応も問題なく、施設の不具合等の市への連絡調整も速やかになされている。 経理事務や予算の執行についても、適正に行われおり、光熱水費や人件費の高騰が続く中、経費削減に努め、最小限の自主財源の補填により、適切な管理運営がなされおり、適正なものだと判断した。

●参考

(単位：円)

			事業計画	令和5年度
事業収 支実績	収入	指定管理料	52,872,000	52,872,000
		その他の収入	124,000	118,702
		前年度繰越金	7,145,000	0
		計(A)	60,141,000	52,990,702
	支出	人件費	11,568,000	11,268,375
		事業費（業務委託 以外）	27,206,000	19,834,753
		事業費（業務委託）	18,591,000	17,626,872
		事務費	2,776,000	2,754,661
		その他	0	0
		計(B)	60,141,000	51,484,661
	収支差引額(A)-(B)		0	1,506,041

【評価区分】

- 評価基準：A（優良）協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。
 B（良好）協定書、仕様書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。
 C（課題含）協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。
 D（要改善）協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。